

PRAEVIDENTIA DAILY (5月7日)

昨日までの世界：ドル全面安

昨日は、ドルが対主要通貨や多くの新興国通貨に対してもほぼ全面安となったのが特徴的だった。欧州時間に入り、スペイン、イタリアのサービス業 PMI の予想比上振れを受けてユーロが上昇、また英サービス業 PMI の予想比上振れ (58.7、市場予想 57.8、前月 57.6) を受けてポンドが上昇、などの個別の材料もないことはないが、ドル全面安を招くような大きな材料とは言い難く、かつ米長期債利回りの低下も小幅に留まっている。むしろ、先週金曜の米雇用統計で、非常に良好な内容だったにも拘らずドルが結果的に反落し、ドルの上値の重さが強く意識されたことが、ドル買い持ちポジションの全面的な解消に繋がったとみられる。この間、ドルの全面的な弱さを反映して、ドル/円も欧州時間に続落し、一時 101.50 円へ下落した。ポンド/ドルは年初来高値の更新が継続、一時 1.6996 ドルへ続伸した。

豪ドルも、豪 3 月貿易収支では黒字が予想比縮小 (+7.31 億豪ドル、市場予想+10.0 億豪ドル) し、一時豪ドルが売られる局面がみられたものの、その後は米ドルの全面安の影響を受けて対米ドルで大きく上昇した。RBA 理事会では市場予想通り政策金利は据え置かれ、金融政策スタンスも当面は金利の安定期が続くという中立スタンスが維持されたことから、豪ドルへの影響は限定的だった。

主要通貨ペアの前営業日比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化

	変化率	米日2年金利差	米2年金利	日2年金利	米日10年金利差	米10年金利	日10年金利	米株価	日株価	原油WTI	原油Brent
ドル/円	-0.5	+0.00	+0.00	+0.00	-0.02	-0.02	+0.00	-0.9	+0.0	+0.0	-0.6
	変化率	独米2年金利差	独2年金利	米2年金利	独米10年金利差	独10年金利	米10年金利	欧株価	米株価	原油Brent	西伊の対独格差
ユーロ/ドル	+0.4	+0.01	+0.01	+0.00	+0.02	+0.00	-0.02	-0.5	-0.9	-0.6	-0.04
	変化率	英米2年金利差	英2年金利	米2年金利	英米10年金利差	英10年金利	米10年金利	英株価	米株価		
ポンド/ドル	+0.6	+0.05	+0.05	+0.00	+0.03	+0.02	-0.02	-0.3	-0.9		
	変化率	豪米2年金利差	豪2年金利	米2年金利	豪米10年金利差	豪10年金利	米10年金利	米株価	中国株価	CRB	
豪ドル/米ドル	+0.8	-0.02	-0.01	+0.00	+0.01	-0.00	-0.02	-0.9	+0.0	+0.0	
	変化率	NZ米2年金利差	NZ2年金利	米2年金利	NZ米10年金利差	NZ10年金利	米10年金利	米株価	中国株価	CRB	
NZドル/米ドル	+0.7	+0.00	+0.00	+0.00	+0.02	+0.01	-0.02	-0.9	+0.0	+0.0	
	変化率	米加2年金利差	米2年金利	加2年金利	米加10年金利差	米10年金利	加10年金利	米株価	原油WTI	CRB	
米ドル/加ドル	-0.5	+0.01	+0.00	-0.00	-0.02	-0.02	+0.00	-0.9	+0.0	+0.0	

(注) 為替相場、株価および商品価格は前営業日比変化率、金利は前営業日比変化幅(%ポイント)。

きょうの高慢な偏見：ドルの自律反発力を確認

きょうの注目通貨：ZAR↓

きょうの指標、イベント	時刻	前期	市場予想	備考
NZ1Q 失業率	7 : 45	6.0%	5.8%	
同・雇用者数・前期比		+1.1%	+0.6%	
豪 3 月小売売上高・前月比	10 : 30	+0.2%	+0.4%	
中国 4 月 HSBC サービス業 PMI	10 : 45	51.9		
カナダ 3 月住宅建設許可件数	21 : 30	-11.6%	+4.0%	
Yellen・FRB 議長議会証言	23 : 00			合同経済委員会
Haldane・BOE 金融システム政策委理事発言				金融安定担当
南ア総選挙・投票開票				

(出所) プレビデンティア・ストラテジー作成

本日は、理由があまり明確でない昨日のドル安から一夜明けてドルが自律反発するかが焦点となり、もし自律反発がない場合にはドルの上値の重さが更に意識され、ドル/円では 2 月以降のレンジ下限である 101 円丁度の固さを試す展開となるだろう。米国の材料としては Yellen 議長議会証言があるが、現在のところ、Fed が特に

市場の利上げ開始時期に関する期待（2015 年半ば前後に利上げ開始）に対して強い違和感はないとみられる中、強いメッセージは発せられないとみられ、材料とはなりにくいだろう。

南アでは本日総選挙の投開票が予定されており、世論調査で大きくリードする与党 ANC の得票率が最近のスキandalを受けて予想外に低かったり、排外主義的な野党 EFF の支持率が高まったりするようだと、南アからの資金逃避が強まりランドは季節性も手伝って下落し易いだろう（ランド見通しについては 4 月 11 日付当社週次レポート「地滑りの勝利（landslide）よりランド安（Rand-slide）」を参照）。

南ア主要政党の前回得票率、現在議席数および最新世論調査における支持率

	アフリカ民族会議 (ANC)	民主同盟 (DA)	経済的解放のための闘志 (EFF)	国民会議 (COPE)	インカタ自由党 (IFP)
党首	Zuma 現大統領	Zillie	Malema	Lekota	Buthelezi
前回得票率	65.9%	16.7%	--	7.7%	4.6%
現在議席数 (計 400 議席)	264	67	--	30	18
2-3 月世論調査	66.1%	22.9%	3.7%	0.7%	1.4%
4 月世論調査	63.9%	23.7%	4.7%	3.4%	0.8%

(出所) 各種報道を基にプレビデンティア・ストラテジー作成

ディスクレイマー

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、全てお客様ご自身でご判断下さいますようお願い申し上げます。

当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。

当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。当資料は購読者向けに送付されたものであり、購読者以外への転送を禁じます。

プレビデンティア・ストラテジー株式会社
 金融商品取引業者（投資助言・代理業）関東財務局長（金商）第 2733 号
 一般社団法人 日本投資顧問業協会 会員番号 012-02641